

我々は決して納得していない！ …二〇一四賃金確定交渉の経過…

2014賃金改定交渉の概要

- ①賃金改定 [給与0.3%+地域手当0.2%+勤勉手当0.15か月]
「差額支給」しかし、物価上昇にも追いつかず
- ②通勤手当 [10km～45km]で増額
多数者の10km以下は増額なし 交通不便者＝減額
- ③「給与制度の総合的見直し」平成27年度から実施

地域手当＝段階的引き上げ 給料表＝引き下げ

現在45才以上の職員は、トータルで賃下げ
55才の職員＝15万円/年 減額
25才の職員＝4.6万円/年 増額だが、生涯賃金は100万減

生計費原則に 合わない賃金改定

12月19日、愛知県議会で「職員の給与に関する条例等」の一部改正について「可決されました。平成26年度分については、4月に遡って、給料の0.3%、地域手当の0.2%、勤勉手当の0.15か月分の引き上げとなりました。しかし、これは、この間の公務員賃金の引き下げや消費税増税による実質賃金低下も考慮されておらず、物価上昇にも追いついていません。」

不十分な通勤手当の改定

通勤手当に関しては、10km上45km未満では、増額されたものの、交通用具使用者の多数を占める10km以下では一切増額されず、交通不便者に至っては、10km未満と45km以上で減額されています。到底容認できるものではありません。愛教労としては、断固として、更なる増額を要求しました。

知らないうちに賃金減額

さらに問題なのは、平成27年度から実施される給与制度の総合的見直しです。

地域手当が、30年4月1日までに段階的に引き上げられますが、給料表が引き下げられる結果、概算ですが、今年度の年齢が45歳以上の職員は、賃下げになります。高齢層ほど厳しく、現在55歳の方は、現在の給与体系と比べて、年収で15万円の減額になります。現在25歳の方は、年収で4万6千円の増額になりますが、生涯賃金という点からみると、100万円近くの大減額です。しかし、実際は、平成30年3月31日までは、経過措置があり、現給が保障されるので、減額されているという実感はなかなか湧かないでしょう。

退職金は来年度から減額

しかし、退職金については、別です。給料表が平成27年度から下がる結果、大幅に減額されます。交渉の結果、段階的に減額されることになったものの、今年度の退職金と比較して、来年度で、56万円、その翌年は、61万、67万、と減り、平成30年度には、77万円の減額です。

再任用職員の賃金まで

再任用職員の賃金は、同一労働、同一賃金に反する状態に置かれます。現在再任用の方は現給保障がありますが、来年度から新しく再任用職員になる方は、現給保障されません。

不当な『総合的見直し』は許さない!!

愛教労は、このような酷い内容の「給与制度の総合的見直し」の一切を認めることはできません。その点で、県教委と継続交渉を要求しましたが、県教委からは、11月17日、一方的に「交渉打ち切り」の連絡がありました。しかし、来年度以降の賃金にかかわる給与制度の総合的見直しについては、引き続き、その不当さを訴えていかなければならないと考えています。

新年明けましておめでとうございます

二〇一五年は日本国憲法を守り、子どもと教職員も守られる年に

愛教労議長 畦地 治

二〇一五年が始まりました。昨年12月の安倍による身勝手解散・総選挙によって自民党は虚構の多数を得ました。(実際には議席を減らしている)選挙に「勝った」ということで安倍は、「様々な困難はあるが憲法改正に向けて行動する」と、選挙戦で一切口にしなかった「憲法改悪」へ動き出そうとしています。

三河のある青年教員が6年生の社会科の授業で、真正面から日本国憲法を取り上げました。その方は、日本国憲法前文と第9条をプリントし児童に配布しました。そしてゆっくり説明を加えながら読んでいきました。前文を読み終えると、子どもたちから「難しい」「よく分からない」の声。しかし、「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」と第9条を読み上げる

と、「自衛隊はどうなるの?」と率直な声が出ました。この授業をするのにその方は「本当に勇気がいった」と、話してくれました。理由は明確です。「管理職や教育委員会から何か言われるのではないか」という心配があつたからです。日本の教員が日本国憲法のことを授業で取り上げるのに勇気が必要。そんな国・教育・学校はおかしいと思いませんか?わたしはこんな国・教育・学校を変えたいと思っています。

戦争放棄をうたった日本国憲法を守ることは間違いなく平和を守ることに繋がります。それは子どもたちや教職員を守ることにあります。二〇一五年は憲法を守る運動に愛教労としても全力をあげます。

昨年わたしは「二〇一四年は鳥居裁判勝利の年になる」と、断言しました。しかしそうはなり

ませんでした。県の基金側や最高裁はいまだに鳥居さんをいじめ続けています。労災問題だけではありません。教職員に長時間ただ働き残業をさせておいて、見て見ぬふりを管理職ばかりです。中には教職員をいじめる管理職さえいます。現に愛教労にはパワハラ相談があとをたちません。わたしたちはこれらの課題にも全力で取り組みます。そのためにはみなさんの力が欠かせません。愛教労に入って、子どもと教育、そして憲法を守る運動をとに進めていきましょ



全国学力テストに参加しないように 愛教労 県内全ての教委に要請

来る12月9日、文部科学省は来年度の全国学力テストの実施要領を発表しました。今年度までと違うのは、国語と算数（数学）に加えて理科を実施することです。このため、今までより1時間、実施時間が増やされ、子どもたちへの負担が増加することが予想されます。理科を加えての調査は、2年前、抽出のときに一度行われたことがありません。

「児童生徒（特に児童）の負担になった。」
「複式学級の学校では未履修の問題もあり対応が煩雑だった。」
「実施する必要はない。」

全国学力・学習状況調査に関する要請書（抜粋）

愛知県教職員労働組合協議会

来年度の全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）は、国語・算数（数学）に理科を加えて実施されようとしています。質問紙と合わせると、小学校では5時間、中学校では6時間の授業時間を使うことになり、1日中テストづけとなります。子どもたちは、このように長時間のテスト、それもとてつもない内容のテストを受ける経験はしておらず、大変大きな負担となります。また、質問紙調査では、生活だけでなく内心に関わることで、事細かに質問されます。子どもたちは、大変な苦痛を感じています。……（中略）……

愛知県では、今年度の小学校国語Bの成績が悪かったことが職場で話題になったところもあります。しかし、愛知県の平均正答数と全国のそれとは、ほとんど開きがありません。小学校国語Bの場合、10問のうち、愛知県の正答数は5.2問、全国は5.5問です。（「平成26年度全国学力・学習状況調査、愛知県の結果」2014.8.25）たったの0.3問の違いに過ぎず、比較や順位づけには意味がないのです。

実施要領では、「調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面である」としています。子どもたちは、義務教育だけでも9年間という長い年月をかけ、学校教育全体を通じてその学力を積み上げていきます。全国学力テストは、「活用」に偏った難しい内容であること、問題数が極めて少ないこと、そしてペーパーテストであることなどから、長年積み重ねてきた学力を正確に把握することはできません。

……（中略）……

このように、全国学力テストは、学校間競争をあおり、学びをゆがませ、子どもたちの心を傷つけるものです。そこで、以下のような要請をする次第です。

記

- 1 全国学力テストに参加しないこと。
- 2 もし、参加することとなった場合においても、市町村および学校別の成績を公表しないこと。

愛教労では、すべての市町村教育委員会に対して、「①全国学力テストに参加しないこと」「②もし、参加することとなった場合においても、市町村および学校別の成績を公表しないこと。また、過去問題や練習問題を解かせるなど、事前のテスト対策を行わないこと」という要請書を出すことにしました。各教労では、それぞれの教委に要請書を提出するとともに、全国学力テストに参加しないよう強く申し入れていきます。（坂井）

平和と歴史の旅 「沖縄・久米島」

12月23日から3泊4日、18人の参加で20℃前後の暖かい沖縄へ行ってきました。

「福島」とともに毎日のように新聞で目にする「沖縄」。太平洋戦争では日本唯一悲惨な実践戦場となり、今なお75%の沖縄に日米軍基地が全土の0.6%の沖縄におかれていて、この差は別に対する怒りが根底を流れているように感じました。

伊江島又チドウ宝の阿波根昌鴻さんの非暴力、一人でも戦う正義感・根気強さは、その資

料館の謝名悦子さんのは、高野古も、辺野古や高野古の闘いを受け継がれていく。久米島は、一天皇



の軍隊に虐殺された久米島住民・久米島在朝鮮人」と役場は関係しないという痛恨之碑に彫つてある言葉が痛烈に当時を物語っていました。

嘉数高台から普天間基地を見下ろすと周りはビルや学校が林立する危険な基地であることが一目瞭然。翁長さんの知事選挙の資料でオール沖縄の精神がよくわかりました。

「普天間も辺野古も同じ県民！同じ命！いつまでも騙されないでいいかげん自立しよう！沖縄の底力を見せよう！ワッターシマを日米の勝手にはさせない！」

また、沖縄民研の長堂さんからの話、「小中学校での平和学習は6月23日沖縄終戦記念日に劇等を通してやってきたが、準備も含めて時間がなかなか取れなくなってきた。」とのこと。それでもなお本土の学校に比べ、きちんと取り組んでいることを感じました。

ヘリパッド基地建設反対の高江では、住民が子どもまで国に よって不条理に裁判にかけられ、最高裁で敗訴。闘いは「標的の村」という映画も作成されています。

辺野古ではその日が座り込み8年、通算3902日目。ジュゴンや珊瑚の貴重な自然もあるところ。お話を聞いた安次富さん、私たちに伝えたかったことは次のことだと思いました。

「沖縄だけの闘いではありません。辺野古や高野古の闘いではありません。みなさんの力で、日本を変えてください……みなさんの住む場所、沖縄の声を聴き、みなさんが変わっていく。基地建設をとめてください。」

（辺野古浜通信より）（加藤）

1月・2月の活動予定

1月

5 拡大幹事会

ルブラ王山

5 愛教労新春のつどい

ルブラ王山

8 健康センター理事会

労働会館

10 愛教労新春大学学習会

センチュリーホール

10 愛教労旗開き

労働会館

10 12 全国障害児学級交流会

和歌山

10 11 全国教育研究集会

奈良

12 全教女性部40回委員会

全教

12 愛教労女性協新春の集い労働会館

全教

12 読書のつどい

東京

13 臨教部県交渉

西庁舎

16 県校長会長との懇談

全教

16 全国署名集約集会

全教

17 18 「生活と権利」討論集会

全教

17日土 久屋大通公園

集団的自衛権行使反対

愛知大集会 パレード

主催：愛知県弁護士会

14. 30 パレード出発

21 戦争肯定教科書不許実行委員会

愛知県教育会館

24 組織強化 拡大ブロック交流会

労働会館

31 1 T A N E 静岡

伊東温泉

2月

6 拡大幹事会

事務所

13 四役会

事務所

14 15 全教大会

全教

14 中部北陸書記連会議

岐阜

15 愛知の会 講演会

栄教育館

22 春を迎える学習会

労働会館

27 幹事会

事務所